

みなさまの お便りコーナー

【12月6日上映会アンケートから】
上映会後のインディーズ・ムービー『みなさまのお便りコーナー』は恒例のアンケートからのセレクトです。

『さんたさんのおくりもの』○音楽が楽しくて映像をひきかたてているように思えます。振付がキャラクターと合っていて良かった。(大田区・男・?) 『宇宙王子パヤン』○私は誰か何と言おうとこういう作品好きです。あの人形は何でどの様に作ったのかなと思いました。昔の実写版のアニメもときを越えているようで変な可愛らしさを感じてしまいました。(太白区・女・20) 『仮面サイバー』○森脇健二に似ているサイバーがただの長髪君ではないなと思った。それより、ジュニーVが観たい。(青葉区・女・19) 『秘蔵! 由美ちゃん!!』○音のズレや映像のひずみが気になるが、作品としては面白いし、英国人チャーリー君のオーバーアクションはもっとあった方がよい。(若林区・女・27) 『くそとり天女』○よく、くだらないネタを昇華させたと思う。二人の演技が抜群に良い。(青葉区・男・23) 『夢幻魔人サイコハンターD(笑)&活劇編』○短い制作期間だそうですが、でも中に入れた素敵な作品。BGM・メイク・特殊効果、みんな好きです!とても綺麗。それから、出演者のみなさんかっこいいばかりですね。(青葉区・男・21) 『中尾真司探検隊』○おぼろげにいいのだが、撮影がしっかりしていていい。キャラクターの味のある演技に圧倒される。中尾隊長の笑い声が良い。(山形県・男・24) 『手づくりのSTAR WARS』○映像はアイデアである、ということを感じていると思います。2分間が2秒にしか感じられない素晴らしい作品でした。(青葉区・男・27) 『ひとけたの夏』○いい思い出があり過ぎて、懐かしく、待った甲斐がありました。(青葉区・男・22) 上映会の良かった点 ○前回までと違って、大きなスクリーンで迫力ある映像を楽しめました。休憩中の音響が良かった。(太白区・男・?) 上映会の反省する点 ○もう少しインタビューで作品のメイキングについて細かくふられて欲しいですね。(若林区・男・26)

NEW GARGE MOVIES FOR THIS CITY インディーズムービー INDIE'S MOVIE CINE SALAD PRESENTS

APR. 12. 1993
NO. 10
発行シネサラダ
連絡先/02-233-1111
仙台

無謀!!夏の3連発!!

7月4日「インディーズムービーⅣ」
セレクション
7月31日・8月1日
「ジャッカー電撃隊上映」
8月6・7・8日
「仙台七夕映画祭'93」

打ち上げ花火だ

…というわけで、この夏、シネサラダは3つも!! 上映会に参加する。当然、新作も上映するわけで、ということは準備の他に撮影もしなきゃいけない!?!?

無謀! 本当にできるんでしょうか。でもやるんです。さて内容はというと、作品のセレクトは、まだどれもはっきりと決まっていないうのですが、ちょっとだけお教えすると、「インディーズムービーセレクションⅦ」では、中尾真司探検隊の2がほぼ決定。7/31、8/1は岸浪監督悲願の「ジャッカー電撃隊」をついに上映。そして「仙台七夕映画祭'93」は、あらゆるジャンルの、また古今東西の秀作自主映画が見れる。今のところ「フィリップ君。」などを予定している。こりゃすごい3連発、たーまー!

★映画をつくってみたい! 自主製作映画
7/1-10/10 映画見たい!! 仙台市 自主製作映画 青年会



INDIES MOVIE常備所

141ELP-7. TAG. シネアート
八重洲橋本 大宮町 情報文化センター

川編集後記
あいのりです。D9の作りこみ
新聞ですが、今日(27日)は
2月休刊は私達の
のせいですが、次は6月10日
本文にこぼれた情報!!
Dのビデオ!! 劇場公開+10分
の全長版に加えラジドラや録
されたテープと、出演者のコメント
のせりふを「D通信」に載せ
たい。800 TAGにて販売



関西の8mm映画

ヒナラギ伝説(1991)

村上とよゆき (1991博)

MAYBE YOU AIN'T WATCHED NOT-HIN YET!

8mmムービーのハードが生産中止となって久しい。そんな中で、もうこれからはこんな作品はなかなか見られなくなる。それが今回紹介する、水谷しゅんじろう作品「ヒナラギ伝説」である。我々の住む世界とは別の次元「ヒナラギ」の世界、そこにひょんな事から舞い込んでしまった少年と少女が繰り広げる冒険ファンタジー映画なのだが、これはもう全面的にハンパじゃないのである。まず4年と10ヶ月の制作日数がハンパじゃない(製作は力なりとは同じ云ったものだが、それ以上に完成させた事が素晴らしいのだね)んで、約250の特撮カットがハンパじゃない(もちろんそれらが映るの場面を飛ばさないのだ。スゴイ!)そして衣装・ロケ・小道具による世界表現の出来栄は、この手のジャンルの作品では屈指の出来栄である。また人名(個人名)を持つ登場人物16名(うちヒナラギ人が14名+結構多いぞ!)の殆どが魅力的で群像ドラマとしても屈指の出来栄である。その中でも重なるのが、ヒナラギ人である。このカンパニイの村上とよゆき監督は、作者の強いイラッとした感じと、和製ロビン・フッドのイメージが強い感じがする。1話完結の短編映画、ヒナラギ伝説は、って事なんです。是非一度見てほしい。さうして、って早い方法としてはビデオを手に入れるのがいいかと思えます。(現在発売中の「宇宙船」のVol.10に紹介記事と問い合わせ先が載っています) 新色文字印刷は、是非是非、是非!! (相変わらずとまねお文章だ。うーっ!!)

西泰幸

電撃通信

一言NEWS
『夢幻魔人サイコハンターD』のビデオは、原作者(?)の許可待ちで発売が遅れています。ビデオはTAGにて販売!

7月31日と8月1日を2日間、会場をヨヤクしてしまったので、もう完成させるしかないのである。エルパーク仙台スタジオホールにて「ジャッカー電撃隊」上映となります。お待たせしました!劇場でお会いしましょう!では! 1993/2/16

TAG

特撮・アニメーション
懐かしみちや・ガレージヤット
自主製作映像ビデオ7冊
中古ゲイムソフト・ビデオ17冊
〈営業時間〉
11:00~20:00 24:00

MY EIGA Collection DE-PALMA

第3回 東北大学

DE-PALMA

空は雲ひとつない青空。林のなかの木々が落とす影はくっきりとした黒。絶好の撮影日和だ。フィルムは買いいっぱい使ったものがたっぷりあるし、レンズに曇りひとつないカメラをのぞいてカメラマンがこっちは見ている。いったいなんの問題があるというのだろう。僕は何度となくついた顔を見ながらまた新たに吐き出し、うすくまっして脚本とにらめっこしている女優を振り回した。「君ってみれば簡単なことだと思うよ!」
「でも... 恥ずかしい!」
僕は太陽が山の陰に入ってしまうのを避けて焦っていた。「カメラが恐いのは分かるよ、僕だって最初はすごく緊張したんだから。彼女は前め息をついて立ち上がった。僕はさすがカメラマンに指示を出す。「じゃあ本番行きませよ。よい、スタート!!」彼女はカメラに向かってしゃべりはじめた。
「あなたの思っているように世界はできていないわ。そこにある、ということが存在だなんて誰も思っていないよ。そうよ(口の端で笑う)不安こそがわたしたちを動かしているのよ!」

DE-PALMAは三年前に結成された。まだ新しいサークルです。集まった人たちは個性派ぞろい。そのせいかDE-PALMAのカラーみたいなものはほとんどありません。ですが、一本の作品を皆でよって作って作り上げるので、その個性のぶつかり合いの面白さを感じていただけたらなあ、と思っています。5月30日に震災復興記念館で上映会をやりませよ。とにかく力作ぞろいだあ!!

文責・小林健太郎

ブラックの広場(ブラックシネサラダファン)

【第一話・黒いシネサラダ】
OIGER編集部
いつものように篤吉が睦子の汚い原稿を清書している
篤吉「今日までにコレでかさないと、新聞、間に合いませんね」
睦子「いいの、いいの、読者なんて、いないんだし」
ドアが開き、拓生が入ってくる。
拓生「ども、睦ちゃんいる?」
篤吉「斎藤さん、丁度いいところでした、ここにトーン貼って下さい」
拓生「どれどれ、こ、こんなに」
睦子「寝ないでやれば、大丈夫よ」
篤吉「もう40時間も寝てないんですよ、手書きにしましょうよ」
拓生「睦ちゃん、もう新聞なんか、やめちまおうよ」
睦子「ナイスアイデアだわ」とドンっ!!
その時、黒い落雷が起こった。

睦子「ねえ、黒いシネサラダにならない?」
拓生「せやな、ブラックや」
馬吉「ブラック、ブラック」
こうして、カッカシラダは誕生した。それは、フランス革命より強力で、大化の改新より血を流す事なく完了した。僅か、1秒間だった。
馬吉「せや、黒い上映会しようや」
睦子「そうね、ナイスアイデアだわ」
拓生「でも、俺達3人しかおらへんし、仲間増やさんと」
睦子「じゃあ黒い新聞を作って、その中の1コーナーを使いませよ」
・五野 馬吉(田舎の丸刈)
・斎藤 拓生(ルンペン俳優)
・能谷 睦子(女王様)

の3人しかいないブラックシネサラダだけに、君も仲間にならないか。8月に自主映画の上映会をやりませよ。【問い合わせは編集部まで】